

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10010130

政策目標	4 つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 (前期総合計画から拡充による事業費増) 【平成30年度】全体30,000千円 ・魚田14号線 L=120m(沢木側W=1.5m) 4,000千円 魚田1号線～魚田14号交差点 ・中央線 L=880m(両側W=1.5m) 26,000千円
基本施策	16 交通体系の整備	事業優先度	B	
単位施策	1 道路環境の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	町道歩道整備事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	整備延長		#N/A	
事業目標	3,530m	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	○町道歩道整備 【平成25年度】 公園通り L=670m(両側W=2.0m) 【平成26年度】 公園通り L=230m(両側W=2.0m) 臨港線 L=400m(両側W=3.0m) 【平成27年度】 魚田14号線 L=490m(幌内側W=1.5m) 【平成29年度】 魚田14号線 L=440m(沢木側W=1.5m)	公園通り L=670m(両側W=2.0m)	公園通り L=230m(両側W=2.0m) 臨港線 L=400m(両側W=3.0m)	魚田14号線 L=490m(幌内側W=1.5m)		魚田14号線 L=440m(沢木側W=1.5m) 国道～魚田1号線	
	事業費(千円)	72,000	16,000	30,000	13,000	0	13,000
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	72,000	16,000	30,000	13,000	0	13,000
	その他	0					
一般財源	0						
実 績 事 業 費	事業費(千円)	70,237	15,330	29,376	12,787	0	12,744
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	69,800	15,300	29,100	12,700		12,700
その他	0						
一般財源	437	30	276	87		44	
関 連 事 項	特定財源の名称 ・地方債(過疎)100%		(実施内容等) 公園通り L=680m(両側W=2.0m)	(実施内容等) 公園通り L=230m(両側W=2.0m) 臨港線 L=407m(両側W=3.0m)	(実施内容等) 魚田14号線 L=490m(幌内側W=1.5m)	(実施内容等)	(実施内容等) 魚田14号線 L=440m(沢木側W=1.5m) 国道～魚田1号線
	【評価・実績】		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	680m	637m	490m		440m
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	96%	98%	98%	#DIV/0!	98%
	全体達成率	21%	62%	80%	80%	98%	
	備考欄						

事業名	町道歩道整備事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	土木管理係	大庭 悟

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路利用者、道路	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	歩道整備延長								
【抱える課題やニーズは】	歩道損傷による通行障害	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	歩道整備による凸凹、ひび割れの解消	① 歩道整備延長/歩道整備延長	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>440 m</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>440 m</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0 %</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	440 m	実績値	440 m	達成度	100.0 %
目標年度	平成29年度										
目標値	440 m										
実績値	440 m										
達成度	100.0 %										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	道路利用者の安全な通行の確保	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0! %</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	〇〇	実績値	〇〇	達成度	#DIV/0! %
目標年度	平成29年度										
目標値	〇〇										
実績値	〇〇										
達成度	#DIV/0! %										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間業者による工事の実施	入札による民間業者に工事を発注し、歩道整備を実施した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	道路利用者の安全な通行を確保することは、町が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、安全な通行が確保された。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	当該事業を実施したことにより、安全な通行が確保されたことは、効率的であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	安全な通行の向上が図られたことは、不特定多数の道路利用者に対して、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
町道の歩道整備を行い、安全な通行の確保を図るため、計画どおり事業を進めることが適当であると判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
損傷が著しく歩行に支障をきたしている歩道の解消を行い、安全な通行の確保を図ることは必要不可欠であることから、継続、現状維持が適当であると判断する。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止